

■2023-24 年度 ロータリー財団地区補助金申請先

プロジェクト名：「貧しい家庭の子どもたちにも学習できる環境を『電子黒板パソコンの寄贈』」

1. このプロジェクトで何をしますか？・ボランティアで貧しい家庭の子らに勉強を教えている NPO 法人に対して、電子黒板・パソコンを寄贈する。

2. このプロジェクトによって誰が恩恵を受けますか？直接受益者推定数もお書き下さい。

貧困家庭の子どもたち、NPO 法人パラダイム、ボランティア教師。直接受益者の推定数 50 名

3. このプロジェクトはどこで実施されますか？実施場所や寄贈先の名称や住所をお書き下さい。

実施場所：パシフィックホテル沖縄 2 階「ワイケレ」那覇 RC 例会場

寄贈先：NPO 法人パラダイム

[NPO 法人パラダイムは、家庭の経済状況によって塾に通えず困っている子ども達を支援する特定非営利活動法人です。主に沖縄県内の大学生によって運営されています。]

4. プロジェクト実施の大まかなスケジュールを入力してください。

(開始) 2023 年 2 月頃 ・例会へお招きし、卓話を頂く。10 月頃・寄贈式

(終了) 11 月頃・職業紹介・IA/RA と連携しての勉強会

5. このプロジェクトに取り組もうと思ったきっかけは何ですか？この活動は、地域社会のどのようなニーズに取り組みますか？そのニーズはどのような情報収集やヒアリングをして特定されたものですか？・知人より、学習塾経営者がボランティアの教師を募って、塾費が払えない環境にいる生徒さんたちに、勉強を教えている NPO 法人があるが、教員はボランティアだが、教材はどうしてもタダで手に入れることは出来ないことと、塾の授業をタダで受講させるわけにはいかないが、塾のある事務所から電子黒板があれば、塾の先生もボランティアで授業を行うことが出来るので、電子黒板等が欲しいが資金的に厳しい。というお話を聞き、面談をし、当該ボランティアを行うようになった経緯等を聞くと、非常に行動力があり、活動にも感銘を受けたため、寄贈のプロジェクトに取り組もうと考えた。沖縄の貧困問題は喫緊の課題であり、多方面から対策を立てる必要があるため、是非、寄贈を実現して、ボランティア活動を活発にしていきたいと考えています。

6. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加する予定ですか？ロータリアンは何を行いますか？プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも 2 つ挙げてください。

・会員数 65 名 参加予定のロータリアンの人数：40 名

・貧困家庭の子らに、職業紹介等を行うことで、モチベーションをアップさせるお手伝いをする。・ロータクト、インターアクトとも協力しながら、ボランティアで勉強を教える機会が提供できるのであれば、それも実施していきたい。

寄贈品：電子黒板 65 インチ 1 台

¥344,000・スタンド 1 台¥46,000・ミラーリングドングル¥33,000・配送設置料金¥22,000・

ノートパソコン 3 台¥158,270 合計¥603,270 (地区補助金¥480,000・クラブより¥123,270)

週


報

世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD

ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度 国際ロータリー会長



第 2894 号

令和 5 年
10 月 24 日
2023 年
OCT

NAHA
Rotary
那覇ロータリークラブ

第 3019 回 例会報告
例会記録・予定

■出席報告

会 員 数	65 名
出 席 免 除 会 員	1 名
出 席 計 算 会 員	65 名
出 席 会 員	33 名
欠 席 会 員	32 名
出 席 率	50.77%

欠席会員名 新垣 (典)、名嘉、上原 (義)、中村、新垣 (豊)、長山、与儀、平良、新里、長嶺、許田、国吉、具志堅、渡辺、下石、新垣 (安)、中村 (英) 宜保、与那覇、上原 (修)、安里 (繁)、赤嶺、下地、義元、喜納、吉野、秋吉、鈴木 (順)、桂原、尾島、武田、山内。

ビジター 福永 健一 氏 (奄美)

遠藤 茂敏 氏 (台北城東)

崎原 信一 氏 (那覇西)

ゲスト・スピーカー コ・イホウ 君 (米山奨学生：台湾) ゲスト 福永 末美 氏 (福永氏令夫人) 遠藤町子 氏 (遠藤氏令夫人)

☆プログラム 10 月 31 日 (火)

「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第 2580 地区

栃木 一夫 ガバナー (東京北)

11 月 7 日 (火)

「イニシエーションスピーチ」

(株)フジタ 沖縄支店 支店長

河端 巧 会員

11 月 14 日 (火)

「ベビーミルクプロジェクト」について

共育ステーションつむぎ

ベビーミルクプロジェクト代表 高良 久美子 氏

11 月 21 日 (火) 同日開催の沖縄分区 IM へ振替

於：ラグナガーデンホテル (宜野湾市) HC 宜野湾

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西 3 警察-6-1 (パシフィックホテル沖縄 1 階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス：<http://naha-rc.org/>

会長 亀川 偉作 副会長/クラブ管理運営委員長/会長エレクト 伊志嶺 匡 副会長/クラブカウンセラー 上原 義信

幹事 保田盛 清士 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 新垣 淑豊 委員 与儀 達樹

■ニコニコBOX (*^^*)v

福永 健一 氏 (RID2730 地区ガバナー補佐：奄美) 久しぶりに那覇クラブに出席することができて、とても嬉しく思います。2024年2月の周年記念には奄美クラブの会員も一緒に出席しますので、よろしくお祈りします。

米須 義明 会員

産業祭りでは、商工会ありんくりん市も開催されます。お待ちしております。ニコニコ！！

古江 健太郎 会員

誕生日のお祝いをいただきました。ありがとうございます。51歳、健康第一に頑張ります！！

■2023-24年度ニコニコBOX

本日のニコニコBOX ¥9,000
ニコニコBOX累計 ¥173,000

■幹事報告 保田盛 清士 幹事

*他クラブ例会休会

・浦添RC 11/3(金)・11/24(金)

*第45回バギオ訪問交流の旅のご案内が届きました。ご参加を希望される会員はクラブ事務局までお申し付け下さい。

日程：2024年2/8(木)～2/12(月) 5日間

視察訪問先フィリピン (バギオ/マニラ)

募集人数：50名 (最小催行人員：25名)

申込締切日：2023年11月30日 (木)

利用航空会社：JAL (日本航空) 又は ANA (全日空)

利用予定ホテル：マニラ・ダイヤモンド

ホテル ご旅行費用について：エコノミ

ークラス利用 (お1人様・2名1室利用)

218,000円 ビジネスクラス利用：

418,000円 その他共通費用：7,000円

*別途費用がかかります。

■会長報告

亀川 偉作 会長

*本日は100万ドル食事 (カレーライス)

例会となっていますが、新しい会員もいますので少し説明をいたします。1961年に世界でロータリアンが50万人になり、1人が食事を2ドル節約すれば100万ドルの基金が生まれるということで、アメリカの或る地区ガバナーのチェスター・クランプ氏が世界に呼びかけたのが始まりです。そして、日本では神戸ロータリークラブが東京オリンピックのあった1964年12月にこのような例会をもったのが最初だといわれています。1961年によくロータリアンの数が50万人を超えたのです。今では120万人を超え現在ではロータリアン1人が2ドルを節約すると240万ドルになりますので240万ドル食事例会ということになります。

■世界ポリオデーについて

安里 政晃 ロータリー財団委員長

*世界ポリオデーは、初めてポリオワクチンを開発したチームを率いた Jonas Salk (ジョナス・ソーク) の誕生を記念して、10年程前に国際ロータリーによって設立されました。

*ジョナス・ソークは、アメリカ合衆国の医学者。ポリオワクチンを開発した。ポリオワクチンの開発に際しては安全で効果的なものができるだけ早く開発することだけに集中し、個人的な利益は一切求めなかった。テレビのインタビューで、「誰がこのワクチンの特許を保有しているのか」と聞かれたのに対して「特許は存在しない。太陽に特許は存在しないでしょう。」と述べたそうです。

今年度もポリオ根絶のための寄付をよろしくお祈り致します。

■モロッコ災害救援募金BOX ¥23,807
累計 ¥93,874

■2023-24年度 国際ロータリー第2580地区

栃木 一夫 (とちぎ かずお) 地区ガバナーご略歴



生年月日：1947 (昭和22) 年5月17日

学歴：1970年3月 獨協大学経済学部経営学科卒業

職歴：1970年4月 東亜金属興業株式会社入社

1974年12月 同社 退社

1975年1月 株式会社栃木屋入社

2023年6月現在 同社 代表取締役社長

ロータリー歴 (職業分類：機構部品製造販売)

1988年6月 東京北ロータリークラブ入会

1995-1996年度 東京北ロータリークラブ幹事

2012-2013年度 東京北ロータリークラブ会長

2015-2016年度 地区クラブ奉仕委員

2018-2019年度 地区クラブ奉仕委員

2019-2020年度 地区クラブ奉仕副委員長

2020-2021年度 ガバナー補佐、地区拡大増強委員、地区研修委員

2021-2022年度 地区危機管理委員、地区近未来構想委員、地区青少年交換委員

2022-2023年度 地区危機管理委員、地区指名委員、地区 DEI・行動計画委員

2023-2024年度 国際ロータリー第2580地区ガバナー

ロータリー財団メジャードナー ロータリー財団ベネファクター

ポール・ハリス・ソサエティ 米山功労者・マルチプル 2023年6月12日現在

☆最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。

(He Profits Most Who Serves Best)

アーサー・フレデリック・シェルドン は、ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければならないと信じ、1910年シカゴでの最初の大会で “He Profits Most Who Serves His Fellows Best” (最もよく仲間に奉仕する者は、最も多く報いられる) と主張。

翌年ポートランドで開催された第2回ロータリー大会でミネアポリスのフランク・コリンズもまた、他人のために尽くす意義と重要性を説き、ロータリークラブは、“Service, Not self” (無私の奉仕) を根本精神として結成されなければならないと強調した。この2つの言葉が後年 “He Profits Most Who Serves Best” (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) および “Service Above Self” (超我の奉仕) と、それぞれ修正され、この2つが正式にロータリーのモットーとして1950年に採用された。その後、1989年の規定審議会で “Service Above Self” がロータリーの第1標語となった。